

セントラル愛知交響楽団

第10回四日市定期演奏会

～若き情熱のコンチェルト～

指揮／古谷誠一（当団正指揮者）

グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調 Op.16
ピアノ／和田 暁帆

リスト：ピアノ協奏曲第1番変ホ長調 S.124/R.45
ピアノ／桂 眞優

ショパン：ピアノ協奏曲第1番ホ短調 Op.11
ピアノ／鶴木彩乃



2019年

8月25日(日) 13:30 開場
14:00 開演

【入場料・全席自由】四日市市文化会館にて2月2日発売開始。

一般 2500円(当日 2800円)

高校生以下 1000円(当日 1200円)

※3歳以下の未就学児は親子室の利用ができます。

【主催】(一社)セントラル愛知交響楽団、四日市クラシックファンクラブ
セントラル愛知交響楽団四日市定期演奏会を応援する「友の会」

【後援】四日市市、四日市市教育委員会、(公財)四日市市文化まちづくり財団
(株)シー・ティー・ワイ (一社)四日市市文化協会

四日市市文化会館
第2ホール

【お問い合わせ】

- 四日市クラシックファンクラブ
セントラル愛知交響楽団四日市
定期演奏会を応援する「友の会」
☎080-4222-3566 西村
- セントラル愛知交響楽団
☎052-581-3851

和田暁帆 (ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。同大学大学院ピアノ専攻修了。武蔵野音楽大学卒業演奏会に出演。みえ音楽コンクール第1位並びに、岡田文化財団賞受賞。海外派遣オーディションに合格し、海外音楽大学学費全額免除の資格を得る。ポーランド国立クラクフ管弦楽団と二度に渡るピアノコンチェルトの共演、東京でのデュオリサイタル開催のほか、2005年・2014年・2016年には、パラミタミュージアムでのソロリサイタルを開催。また、三重新音楽家協会50周年記念演奏会にて、セントラル愛知交響楽団とピアノコンチェルトを共演するなど、数多くの演奏会に出演している。ピアノを田村明子、徳田圭子、ケマル・ゲキチ、伴奏法を三ツ石潤司の各氏に師事。三重県新音楽家協会会員、東京国際芸術協会演奏家会員



桂真優 (ピアノ)

三重県立上野高等学校普通科、桐朋学園大学音楽学部卒業、東京音楽大学大学院音楽研究科楽器専攻鍵盤楽器研究領域修士課程修了。第7回、第12回みえ音楽コンクール第1位、及び岡田文化財団賞受賞。日本ピアノ教育連盟ピアノオーディションファイナリストに入賞、入賞者演奏会に出演。ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 全国大会出場。ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団と2度共演、伊賀シンフォニックアカデミー、合唱団うたおにと共演。学内特別レッスンでP.ドヴァイヨン、M.ヴォスクレセンスキー等各氏のレッスンを受講。これまでに高北通子、斎木隆、菊地裕介、清水和音の各氏に師事。現在、大阪国際大学短期大学部、三重県立伊賀白鳳高等学校非常勤講師をする他、演奏活動も行なっている。



鶴木彩乃 (ピアノ)

三重県四日市市出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て名古屋音楽大学音楽学部ピアノコース卒業。同大学院修了。在学中、室内楽アンサンブルのタベ、定期演奏会、卒業演奏会等の各選抜による演奏会に出演。平成27年度公益財団法人山田貞夫音楽財団奨励学生。東京国際芸術協会の助成を受け、ウィーン国立音楽大学にてWiner MusikSeminarを受講。トーマス・クロイツベルガー氏のマスタークラスを修了。ディプロマ取得。これまでにエドゥアルト・クンツ、イムレ・ローマン、野原みどり各氏の公開レッスンを受講。第37回新人演奏会 in いが等多数の演奏会出演。第31回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション東海地区D部門地区優秀賞。全国大会出場。これまでに滝雅子、宇野恭子、熊谷恵美子、佐藤恵子の各氏に師事。



指揮／古谷誠一 (当団正指揮者)

東京大学文学部卒業。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生(指揮専攻)として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。二期会中四国支部のモーツァルト「魔笛」公演を指揮して指揮活動を始める。以降、長門美保歌劇団の「チャルダッシュの女王」、日本バレエ協会での「パヤデルカ」「シェヘラザード」、日生劇場での東宝ミュージカル「マイ・フェア・レディ」など活動の場を広げている。「ドン・ジョヴァンニ」「ボエーム」「椿姫」などのオペラから「サウンド・オブ・ミュージック」「アニー・ボレー」とのミュージカル、「カルミナ・ブрана」、プリテンの「戦争レクイエム」、ヤナーチェクの「グラゴール・ミサ」、ヴェルディ、ペリオリオズの「レクイエム」などの大掛かりな舞台作品まで、手がけた作品はあらゆるジャンルにわたっている。ま東京フィル、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友オケ、名古屋フィルなど数多くのオーケストラを指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、オペラ「日本の夜明け」(演奏会形式)をセント・ルースオーケストラ・ニューヨークと共演し、絶賛される。2005～2006年、ボローニャ歌劇場にて研修。2008年4月に馬山市立交響楽団を、5月にはブダペストでショルティ記念オーケストラを指揮。また、落語家春風亭小朝と組んだ音楽会も好評を博す。現在、名古屋芸術大学客員教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。

演奏／セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1990年から岩倉市の事業補助を受け、1997年セントラル愛知交響楽団と改称。2009年4月一般社団法人となる。2019年4月、5年間にわたり音楽監督を務めたレオシュ・スワロフスキーは名誉音楽監督に、そして新たに常任指揮者として名古屋出身の俊英 角田鋼亮が就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。また2015年半田市と音楽文化振興の協定を締結し、以降さまざまな事業を展開。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

～私たちはクラシック音楽が大好きです。四日市定期演奏会を応援しています～

秋山 典正	稲葉 勝利	春日部 弘	斎木 妙子	高橋 亮太	名倉 圓子	平井 勇治	牧野千枝子	山下 勇
浅岡 節子	今村 勝昭	加藤 治彦	坂上 喜代	田川 泰子	庭田智恵子	平井 澄子	松井三千男	山下 好文
荒木とき子	今村 藤代	金信みか子	坂倉日登美	瀧島利喜郎	能勢 進	平井 晴弘	松尾さき子	山田 昭子
飯田 淳子	今村万里子	川口 弘	白木 祥五	堤 明	能勢 陽子	廣谷 賢司	丸橋 毅	山中しづ子
池田 恵子	浦 悦子	河村 鈴代	鈴木 恭子	土井 章平	袴田 政廣	福島 泰子	水谷 郁子	山本 友恵
石川 和代	大槻千代子	北川志げ子	鈴木 尚温	富澤 孝義	橋本 昭子	福田 良美	水野 弘子	吉田 尚美
石田ゆかり	岡田ふみ子	栗田 邦枝	高尾田鶴子	富田 敬子	畑出 英巳	藤崎 俊夫	南 幸子	淀野 稔
石原 倫子	小川 美子	後藤久美子	高木 剛	富山 春樹	服部 修子	藤澤 忠雄	南川 恒廣	鷲野美代子
市川 雄二	奥山 恵子	後藤 基裕	高崎 和子	豊田 泰治	花岡 俊雄	藤田 清恵	三橋 泰子	渡辺 竹子
一見 八郎	押川 清美	小山 光子	高塚 和子	中村 隆行	伴 浩好	藤原 栄子	宮澤千代子	西村 邦彦 (事務局)
伊藤よし子	鎌山 喬	齋木 厚志	高橋美智子	永谷ゆかり	平井 静香	藤原 元吉	山内 てい	